

外形寸法図

ブース形（深形）レンジフードファン

- 形名
 V-602K6(-BK) V-604K6(-BK) V-604KD6
 V-604KG6 V-604KE6 V-604KSW6 V-605K6(-BK)
 V-754K6 V-754KD6 V-904KD6

取付工事説明書 販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。
 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

- 本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
- 本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ150の銅板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。	交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。
水ぬれ禁止	直接水のかかる場所や湿気が多い場所には取付けない 感電および故障の原因。	製品金属部（金属製ダクト）がメタルスズリ、ワイヤレス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように取付ける 接続されていると漏電した場合火災の原因。
分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。	自然排気型ストーブがある部屋に据付ける ときは、部屋の空気取入れ口を設ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。
プラグを抜く	ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 通電状態では感電の原因。	包装用ポリ袋などは幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 幼児が頭からかぶると、窒息の原因。
アース確認	アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合感電の原因。	

注意		誤った取扱いをしたときに傷害または家産・家財などの損害に結びつくもの
禁止	浴室など湿気が多い場所では絶対に使わない 感電・故障の原因。 指定以外のランプを使用しない ランプ周辺が高湿になり、やけどの原因。	電気工事・アース工事は電気工事士が行うこと 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因。
接触禁止	運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。	部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。
指示に従う	本体の取付けは十分強度のあるところを 落下によりけがの原因。 取付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。	配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
		取付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

取付け前のお願い

下図の寸法を守る
 (本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です)

●レンジフードファンはガス器具よりも幅の広い物を選択してください。

（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります）
 （捕集性能が得られないことがあります）

コンクリートなど、傷のつきやすいものうえには直接置かない

本体は水平に取付ける（前後・左右）
 (羽根当たりや異音の原因になります)

ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつける。先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしない。（風量低下や異常音発生の原因になります）
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - 吐出口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり
- システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。（製品性能が得られないことがあります）

排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。

●室内には専用の給気口を設けるようにしてください。
 (扉の開閉が困難になったり、製品性能が得られないことがあります)

●風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が調理の油煙に直接あたらないようにしてください。（油煙等の漏れの原因となります）

形名	A	B
V-602K6(-BK)	600	108
V-604K6(-BK)	600	108
V-604KD6	750	183
V-604KSW6	750	183
V-605K6(-BK)	900	258
V-754K6	900	258
V-754KD6	900	258
V-904KD6	900	258

※はダクト接続口可動寸法

※はダクト接続口可動寸法

※はダクト接続口可動寸法

※はダクト接続口可動寸法

付属部品

●下記の付属部品があります。

上金具…2個	上扉板取付金具…2個	チョウボルト…2本
丸ワッシャー(大)…2個	角ワッシャー…4個	木ネジ(大)…4本
丸ワッシャー(小)…2個	特殊ワッシャー…4個	木ネジ(小)…2本
ネジ(中)…8本	ゴムワッシャー…4個	ネジ(小)…4本
ネジ(小)…4本	天吊用ワッシャー…4個	

※図はV-604K6を示します。
 ●形名によって工事内容が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

取付方法

本体の取付けには、天井取付けと壁取付けがあります。
 この製品は上部直排方式となっていますので排気方向は後・左・右を自由に選択できます。
 ■天井スペースがない場合で排気方向を後・左・右に変更するときはシステム部材の排気アタッチメント (P-60MA4) をご使用ください。(KEタイプを除く)
 ※V-604KSW6に排気アタッチメント (P-60MA4) をご使用の場合、右排気ができません。

1 取付け前の準備

本体を取付ける前にダクト配管・取付け壁の準備をします。

板振りの場合

- 板厚20mm以上の場合は直接壁に取付ける。20mm以下の場合は20mm以上になるよう補強板を取付ける。

コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込む。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するか補強板を固定して取付ける。(補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着させません)

ダクト配管

- 壁穴をあけてその中にφ150のダクト（銅板管・スパイラルダクト）を配管し、その周囲の仕上げを行う。

お願い

- 取付け部には十分強度をもたせてください。(取付け部が弱いと振動・騒音の原因になります)

天吊ボルト

- 天井取付けの場合は外形寸法図を参照して天吊用穴位置にあらかじめ市販の吊りボルト (MB) 2本を埋め込む。

2 前パネルをはずす

1 本体右上にあるコネクターは片手でツメを押しながらかく引いた後、持ちかえて左右に動かしながらゆっくり引き抜いてください。

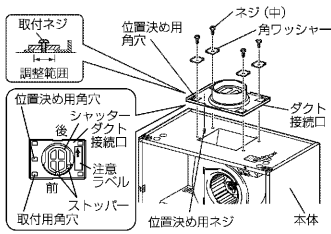
2 本体内の両側にある取付ネジをはずす。

3 前パネルを本体から取りはずす。
 (1) 少し上に持ち上げて(1)手前に引き(2)、下部ツメを角穴からはずす。
 (2) 手前下方に引いて(3)、上部ツメを本体切欠部からはずす。

3 上扉板取付金具を仮止めする

●上扉板取付金具の引掛部を本体角穴に差し込み、本体内部から付属のチョウボルトで仮止めする。(左右の2か所)

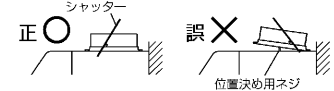
4 ダクト接続口を仮取付けする



●ダクト接続口に貼ってある注意ラベルに従って図のように必ず位置決め用角穴と位置決め用ネジを合わせて取付ける。

お願い

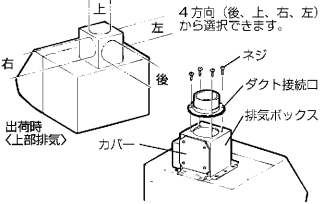
●ダクト接続口の取付け方向に注意してください。反対向きには取付けられません。(下図を参照してください)



●ダクト接続口の取付用角穴が本体の取付穴の中心になるように付属のネジ(中)・角ワッシャー(各4個)で仮取付けする。

■V-604KE6の場合

排気方向を選択し、下図に従ってダクト接続口、排気ボックスを固定したあと、本体を天井・壁に取付ける。



工場出荷時は上部排気。
排気口に合わせ、後・右・左排気が可能。

【上部排気の場合】

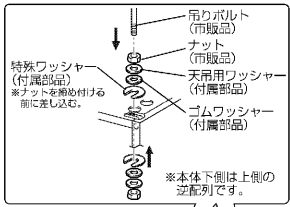
●ダクト接続口を付属のネジ(小)4本で排気ボックスに取付ける。

【後・右・左排気の場合】

- 1 カバーのネジ4本とカバーを取りはずし、カバーを排気ボックスの上部にはずしたネジで取付ける。
- 2 ダクト接続口を付属のネジ(小)4本で後側(カバーがもともと取付けられていた側)に取付ける。
- 3 右または左排気の場合は排気ボックスのネジ・角ワッシャーをはずし、ダクト接続口が右または左側になるよう90°回転させ、はずしたネジ・角ワッシャーで排気ボックスを取付ける。

●排気ボックスが、引掛金具に確実に挿入されていること、および排気ボックスのパッキンがはがれていないことを確認する。

5 天井/壁に取付ける



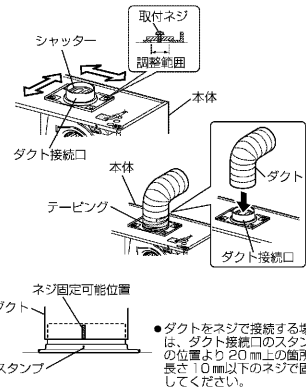
■天井取付けの場合

- 1 外形寸法図を参照して、排気方向と天吊用穴位置を確認後、吊りボルトを埋め込み、ナット(市販品)4個と付属の天吊用ワッシャー、ゴムワッシャー(各4個)を取付ける。
- 右または左に排気する場合は、前側の天吊用穴を使用する。
- 2 本体の天吊用穴(2か所)のノックアウトをハンマーやドライバーなどを使用して打ち抜く。
- 3 本体を吊りボルトに吊し、付属の特殊ワッシャー(4個)を差し込む。
- 4 左図のように付属の特殊ワッシャー、ゴムワッシャー、天吊用ワッシャーを介してナット(市販品)で固定する。
- 水平に取付けていることを確認する。
- 5 本体内部より壁面に向けて付属の丸ワッシャー(小)木ネジ(小)2本で本体を固定する。

■壁取付けの場合

- 1 仮止穴位置に付属の木ネジ(大)を壁面と水平になるよう図のように8mm残して仮取付ける。(2か所)
- 壁面に下穴をあけてから木ネジを締め付けてください。
- 2 本体を木ネジに引掛ける。
- 3 傾きのないように本体内部から壁面に向けて付属の丸ワッシャー(大・小)と木ネジ(大・小)で図のように本体4か所を固定する。
- 4 仮取付けした木ネジを締め付ける。

6 ダクト工事



1 ダクト接続口取付位置の調整

●あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口にずれがでた場合はダクト接続口の取付ネジをゆるめて調整範囲でずらし、ダクトと合わせる。(V-604KE6の場合は、排気ボックスを本体へ固定している取付ネジをゆるめて調整する)

2 取付ネジを締め付け、ダクト接続口をしっかりと固定する。

3 ダクト接続口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングする。

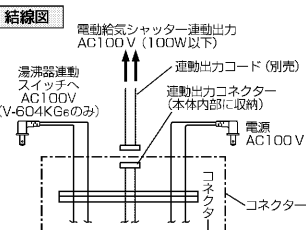
お願い

●ダクト配管の曲がりが多かったり、配管が長いと風漏れしやすくなるため、その際はダクト接続口の周囲にもテーピングしてください。

●ダクト接続口に無理な力を加えないでください。変形し、風漏れやシャッター動作不具合の原因になります。

●シャッターがダクトに接触しないように施工してください。異常音発生や製品性能が得られないことがあります。

7 電気工事



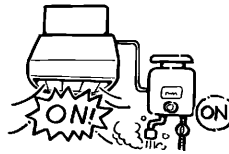
- 1 アース端子を使用して必ずD種接地工事を実施する。
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む。

●電動給気シャッターを使用する場合は、別売の「電動給気シャッター-運動出力コード(形名:P-60QC)」を接続のうえ、結線図の大線部分を結線してください。

●運動出力コードと電動給気シャッターの結線の方法については運動出力コードの取付説明書をご覧ください。

■V-604KG6の場合

このレンジフードファンは市販の換気扇連動スイッチ・圧力スイッチを組合わせてガス湯沸器と連動運転することができます。工事についてはガス供給事業者(ガス会社)にご相談ください。



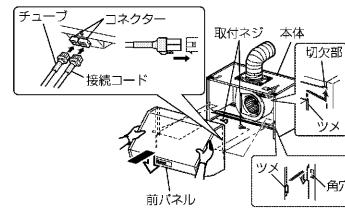
●風量切換スイッチを「切」にしてもよいも、ガス湯沸器を使用するとレンジフードファンが「強」運転し、ガス湯沸器を止めるとレンジフードファンも停止します。

●風量切換スイッチを「中」または「弱」にして運転中、ガス湯沸器を使用するとレンジフードファンが「強」運転に切りかわり、ガス湯沸器を止めると「中」または「弱」運転に切りかわります。

お願い

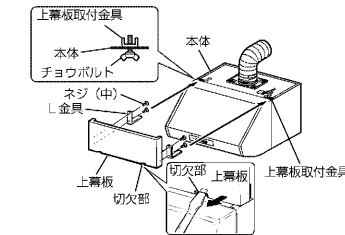
●施工中で、ガス湯沸器を操作しないでください。レンジフードファンが動きだし危険です。

8 前パネルの取付け



- 1 前パネル上部のツメを本体切欠部に引掛ける。
- 2 前パネル下部のツメを本体下部の角穴に押し込み、下させる。
- 3 前パネルと本体の両側を本体内部から図のようにはずした取付ネジ2本で固定する。
- 4 前パネルのコネクタを本体にカチッと音がするまで差し込み接続する。
- はずれないことを確認する。

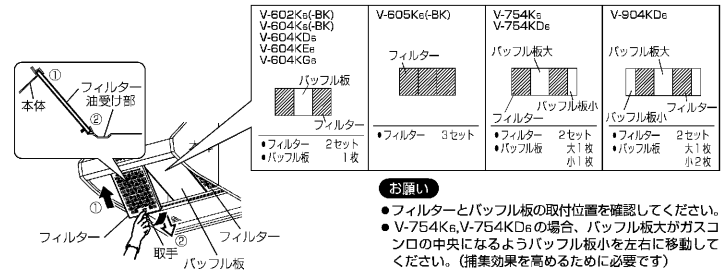
9 上幕板の取付け



- 1 上幕板にL金具を付属のネジ(中)(各2本)で固定する。
- 2 上幕板を本体と上幕板取付金具にはさむようにして、前側からスライドさせる。
- 3 吊り戸棚に合わせて、上幕板の前後方向の位置を決め、仮止めしてあるチョウボルトを締め付け固定する。
- 奥に入りすぎた場合は、上幕板の切欠部にマイナスドライバーなどを引掛けて前に引き出す。
- 確実に取付けられていることを確認する。

10 フィルター・パッフル板の取付け

●機種により枚数、取付位置が異なります。



お願い

●フィルターとパッフル板の取付位置を確認してください。

●V-754K6s、V-754K6sの場合、パッフル板大がガスコンロの中央になるようパッフル板小を左右に移動してください。(捕集効果を高めるために必要です)

- 1 パッフル板は上部を差し込み、下側をはめ込む。
- 2 フィルターの取手を持ち、上部を差し込み、下側をはめ込む。

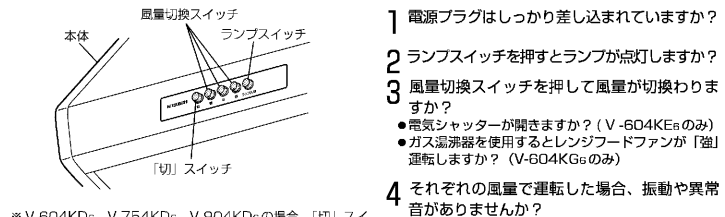
取付工事後の確認

■取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。

警告 ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカを切る。(感電の原因)

1. 本体はしっかりと固定されていますか? ランプはゆるんでいませんか?
2. レンジフード内のコネクタが「カチン」と音がするまでしっかり差し込まれていますか?
3. D種接地工事は実施されていますか?

■電源プラグをコンセントに差し込み、次の確認をしてください。



- 1 電源プラグはしっかりと差し込まれていますか?
- 2 ランプスイッチを押すとランプが点灯しますか?
- 3 風量切換スイッチを押して風量が切りかわりますか?
- 電気シャッターが開きますか? (V-604KE6のみ)
- ガス湯沸器を使用するとレンジフードファンが「強」運転しますか? (V-604KG6のみ)
- 4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか?

※V-604KDs、V-754KDs、V-904KDsの場合、「切」スイッチを押すと24時間換気となり停止しません。停止させる場合は「切」スイッチを3秒押ししてください。

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。